



学校法人 志賀学園  
認定こども園  
平第一幼稚園  
令和6年1月31日

2月は1年で寒さが一番厳しいといわれる時期で、北風が肌を刺すような毎日です。今年の冬は、まだまだ寒さが続くようです。

歩けるようになったちゅうりっぷ組の子どもたちは、ヨチヨチと自分の足でブロック等の遊具をめざして進む姿や、こまの回っている様子を不思議そうに見ている姿がみられました。

たんぽぽ・もも組の子どもたちは、凧やこま作りを楽しみ、「見て！見て！いっぱい回っているよ」と友だちとこま回しごっこを楽しむ姿が見られました。

ばら・すみれ・さくら組の子どもたちは、肌を刺すような冷たい風にも負けず、なわとびやマラソンなど寒さにも負けないで頑張る姿が見られるなど、一年の成長の大きさを感じております。

先日、すみれ・さくら組のなわとび大会がありました。なわとび大会では、跳んだ回数で順位が決まりますが、跳べること以外にも毎日なわとびを頑張っていることへも注目したいと考えています。たくさん回数が跳べるお友だち、長い時間跳べるお友だち、いろいろな跳び方ができるおともだち、毎日なわとびをして遊んでいるお友だちなど、いろいろな角度から子ども達の頑張る姿をとらえていきたいと思えます。

2月4日は、立春です。その前日を「節分」といいます。節分には「季節を分ける」という意味があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことです。昔は立春が一年の始まりでしたので、節分といえば立春の前日を指すようになりました。悪いものや災いにたとえた鬼を、豆をまいて追い払い、一年の無病息災を願いましょう。

豆まきの後に豆を食べますが、福を呼び込む為に食べるのですから「福は内」でまいたものを食べたほうが良いです。食べる数は数え年(満年齢+1)の数だけ食べると一年間病気をせずに元気に暮らせるということです。

また、今年もこども園では、豆をまくだけにして食べることはしません。また、こども園からの持ち帰りもありませんのでご了承ください。

11日の『建国記念の日』は、「日本書紀」に記された日本で最初の天皇といわれる神武天皇即位の日本の紀元の始まりとして、明治5年に「紀元節」という祝日が定められていました。昭和23年に廃止されましたが「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として1966年(昭和41年)に「建国記念の日」と定められました。

日本の伝統や文化、自然や四季折々の季節など、良いところをたくさん見つけて次の世代へ伝えていきたいですね。

今年度も残すところ2ヶ月足らずとなりましたが、残り少ない日々を大切にしながら一年の締めくくりを行い、進級や進学への自信と期待を膨らませていきたいと思えます。

吉竹 芳江